

いつも昭島市の行政につきまして、様々なご助言をいただきありがとうございます。

貴職の理念である動物の尊厳を守る考えに共感する思いで、昨年より貴職より数々のご提案、ご意見、また市議会でのご質問を受けて、微力ながらも可能な限りの飼育改善に取り組んでいるところでございます。貴職の活動がひとつの機会となり、それぞれのお立場の方からのご提案、ご意見を受けるようになり、その対応に苦慮することもあります。市といたしましては動物達の事を第一に考え、今後も改善できることから取り組んでいくつもりです。

4月からは客観的な立場から公益社団法人東京都獣医師会とは動物の治療はもちろんのこと、定期的な健診や飼育に関して幅広い助言をいただく機会の提供などの契約を協議しているところです。

今回文書にてご意見いただきました内容につきまして、市の考えを述べさせていただきます。

1. 常時餌を食べられるよう、牧草・野菜の増量

昨年からの反芻動物の餌についてのご意見をいただいてから今までの餌に加え、牧草が食べられるように既存の餌場と異なる場所に配置しております。日によって異なりますが牧草が無くなっているときは補充したり、夕方には今までの餌も残っている事があったりと様子は様々です。いずれにしても餌の不足については様子を見ながら不足のないように努めてまいります。

またオスの闘争行動については獣医師にも相談をしており、餌の量との因果関係は不明ですが、今後も様子を見守ってまいります。

2. 衛生管理・サシバエ防止のため土の定期的な入れ替え

昨年発生したサシバエについては色々なご提言を受け対応してきましたが、完全に駆除出来なかったことから、衛生面を第一として床のコンクリート化などの改善策のご意見も頂いており、また今回のご提言のように蹄への負担も含めて検討しているところでございます。

検討にはもう少し時間を要することから、効果を検証するためにも一度土壌の入れ替を実施してまいります。

3. 死亡動物の病理解剖

今回ご提言を受けている通り死亡原因を究明することが今後の予防、そして飼育環境の改善への一助になると思われれます。現在インドクジャクについては病理解剖を実施し、その原因究明に努めております。

その結果については今後の飼育に繋げ、同様な事が発生した場合にはその都度原因究明に努めてまいります。

平成 29 年 2 月 17 日